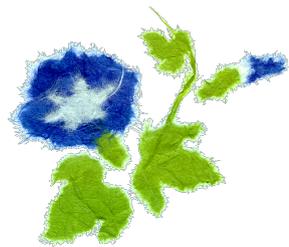


とことこ通信



山陽小野田こども発達支援センター「とことこ」2020年8月発行

大暑から立秋へ・・・



令和2年（2020年）も早や折り返しを過ぎ、二十四節気では「大暑(7/22)」から「立秋(8/7)」「処暑(8/23)」へと季節は進みます。長かった今年の梅雨が明けると同時に真夏の暑さが増し、定番の「暦の上では秋ですが・・・」のフレーズが聞かれる頃です。この日以降が残暑となり、暑さの頂点となるようです。今年の夏は予報どおりの酷暑の雰囲気漂っています。

「とことこ」の子ども達は、暑さに負けず園庭を走り回ったり、水遊びに興じたり、元気に過ごしています・・・

未だに、コロナウィルス感染症については収束が見えず、私たち一人ひとりが、感染拡大第2波に備えて平素の感染予防対策を怠りなく、継続していくことが重要ではないかと思えます。

また、開設初年度に実施した行事等についても3つの密を避ける等、感染拡大に配慮し見合わせることにしました。利用者も増え、会場の確保、利用条件等クリアしなくてはならない多くの条件を鑑みて決断した次第です。

大切なことは、一人ひとりにあった「とことこ」での繰り返しの生活パターン（規則正しい活動パターン）を集団療育、個別療育を実施する中で、定着していくこと（社会性の構築）につながるのではないかと考えます。

<早期発見 早期支援 早期療育>

⇒ 三つの要素を基に子どもの成長を支えていきます。



文責：yoshimizu



それぞれの願い～七夕飾り～

短冊に一人ひとりの願いを、お父さんお母さんの思いが込められて書かれています。

みんなの願いが

叶いますように！！



